

早稲田大学 vs 流通経済大学

5月10日(土)
13:50K.O.
たつこの

5、6節の2試合で1分1敗と、優勝争いから一歩後退してしまった早大だったが、前節の慶大戦は2-0の完封勝利を収めた。

「専大と順大が先に走っているのに、今日負けたら優勝はつぶれるという危機感のもとで、最初から限界に近いようなプレーができた」(古賀聡監督)

久しぶりに早大らしいプレーが見られた。

「最初からプレッシャーをかけにいき、アクションも強く起こせていた。攻守の切り替えの強度も出ていたので、自分たちの強みを出せていた」(古賀監督)

今後ともこういったプレーを続けていくことができるかがどうかカギだ。厳しい試合がまだまだ続くが、前期リーグ終盤に入ったここからが正念場だ。

優勝候補にも挙げられていた流経大だが、ここに来て3連敗。上位進出をかけた前節の国士大戦も、1-2の敗戦を喫してしまった。

「後半くらいできていたら敗れても仕方がないと思えるが、前半の戦いがひどかった」(中野雄二監督)

開幕からなかなか乗り切れず、不安定な戦いが続く。

「1点返すことができたのはよかった」(中野監督)

守備が安定してくれば勝ちきれぬ力はあるのだが、な

かなか相手の攻撃を抑えきれない。

「後半のようなゲームを最初からすることが大切」(中野監督)

優勝を狙うためには1敗もできない状況だが、そのプレッシャーで萎縮してしまっているのかもしれない。

「早大はみんな気持ちが強い。そこがうちとの違いだ。

3連敗してしまったため、ここから勝てるかどうか大切」(中野監督)

出場停止: 園田慎一郎(早大) 警告3回: 富田湧也(流経大)

昨年の対戦: 前期/早大3-0流経大、後期/早大0-3流経大

早大			流経大		
20. 平澤	14. 堀田	20. 江坂			
3. 田中進	15. 上形	9. 田上	26. 藤原		
	6. 近藤洋		2. 湯澤		
1. 松澤		7. 森保	5. 川崎	1. 中島	
	24. 海野		10. 野口		
2. 奥山	11. 山内	12. 藤山		27. 永田	
22. 新井	7. 近藤貴	6. 富田			

桐蔭横浜大学 vs 駒澤大学

5月10日(土)
13:50K.O.
保土ヶ谷

6節で筑波大を3-1で下した桐蔭大。攻撃陣も3得点と奮闘しただけに、この勢いに乗って一気に連勝といきたかった。実際、前半25分に先制点を奪って試合を優位に進めたが、その後がいけなかった。

「先制したにもかかわらず、逆転して負けるというのは非常に悔しい」(八城修監督)

前半、風下の中での苦しい戦いだったが、先制点を奪って無失点で折り返した。しかし後半、一気にいこうといったところで3失点。

「決め切らなければいけない部分で決め切れなかった。1点取ったら2点、2点取ったら3点取るというように、もっと貪欲にいく中で失点を減らしていきたい」(八城監督)

勝ちたいという気持ちが逆に守りの意識を強くしてしまい、攻撃面で積極的にいけなかった部分もあった。

「順位的にも勝点的にもかなり厳しい状況にいる。しかし順位というより、全力で戦うことでしか成長はできない」(八城監督)

開幕からなかなか勝てずに苦しんだ駒大だが、5、6節と連勝。前節の筑波大戦も乱打戦となったが、4-3で下して3連勝を達成した。

「点の取り合いだったが、それでも何とか勝てた。守備をもう少ししっかりしてほしい」(秋田浩一監督)

逆転を許す場面もあったが、最後まであきらめない駒大らしさを発揮し、大きな勝点3を得た。

「大きな自信というよりは一生懸命やれば1部に残れるという手応えを、選手たちは感じた」(秋田監督)

自分たちのサッカーを信じて、徹底して貫けるようになってきたのが大きい。

警告3回: 福島翔太郎(桐蔭大)

昨年のリーグ戦での対戦はなし

桐蔭大			駒大		
18. 佐々木	7. 山根	7. 平野	13. 大木		
33. 田中憧	30. 鈴木		5. 伊藤		
	6. 福島		10. 板倉		
21. 田中雄		9. 小牟田	1. 秋山		
	12. 金子	15. 須貝	17. 立石		
4. 古澤	28. 石川		4. 平尾		
11. 石堂	8. 山崎	11. 小牧	16. 柳川		

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

JR東日本カップ 2014 第88回 関東大学サッカーリーグ戦

OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.26-NO.8 Division1



編集: 加茂郁実 発行: (一財) 関東大学サッカー連盟 協力: 関東大学サッカーサポーターズクラブ

順大が専大との直接対決を制して首位に!!

ゴールデンウィーク最後のゲームとなった「JR東日本カップ 第88回 関東大学サッカーリーグ戦」第7節。劇的な試合が多く、各会場が盛り上がった。その模様を紹介しよう。

まずは一番の注目カード、6節終了時点で首位の専大と2位・順大の首位決戦。全体的には専大が主導権を握りながら順大も耐える展開となったが、それでも後半13分に専大が先制点を奪って試合を優位に進めた。しかし、驚異的な粘りを見せたのが順大で、アディショナルタイム2分、4分とゴールを奪って逆転に成功。2-1で専大を下し、首位に立った。専大は痛恨の逆転負け。今節に引きずらなければいいが……。

お互いに上位を狙いながら、このところやや元気がない早大と慶大のゲームは、後半20分に先制点を奪った早大が、42分にも加点。2-0で慶大を下して、必死に上位にくらいついている。慶大は連戦の疲れの影響か、守備が安定しなかった。

明大と6節でリーグ戦初勝利を挙げた東国大の一戦は、明大が後半25分にゴールを決めて1-0。東国大も必死に同点を狙ったが得点することはできず、明大がそのまま逃げ切った。明大はようやく調子が上がってきた格好。東国大は波に乗りきれない。

優勝のためにはどちらも負けられない一戦となった国士大 vs 流経大は、6分、28分と前半のうちに国士大が2ゴール。流経大も反撃を試みたが、後半45分に1点を返すのがやっとだった。2-1で流経大を下した国士大

得点ランキング		アシストランキング	
前澤 甲気(専大)	7点	北出 雄星(専大)	4アシスト
山根 視来(桐蔭大)	5点	仲川 輝人(専大)	3アシスト
佐野 翼(順大)	5点	平松 宗(国士大)	3アシスト
近藤 貴司(早大)	4点	望月 大知(慶大)	3アシスト
北出 雄星(専大)	4点	堀田 稜(早大)	3アシスト

は、何とか優勝戦線に踏みとどまった。流経大は苦しい状況に追い込まれた。

なかなか調子が出ない中大と桐蔭大の対戦は、桐蔭大が前半25分に先制点を奪ったが、中大が後半に3ゴール。3-1の逆転勝利で今季初勝利を挙げた。桐蔭大はなかなか浮上のキッカケをつかめない。

今シーズン勝ち星がない筑波大は、2連勝中の駒大と対戦。筑波大が前半に2点を奪って初勝利かと思われたが、後半に駒大が反撃。2-2の同点に追いついた。その後も両チームがゴールを奪い合い、最終的には4-3で駒大が筑波大を撃破し3連勝。筑波大の白星は遠い。

ゴールデンウィーク、好調だったのは順大と駒大。駒大の連勝はさらに続くのか!? そして、優勝争いはどのようになるのか!? 今後とも目が離せない!

JR東日本カップ 2014 [第88回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	チーム名	順大	専大	早大	明大	国士大	慶大	駒大	流経大	東国大	中大	桐蔭大	筑波大	試合数	勝数	敗数	得点	失点	得失点差	勝点	
1	順大		201	000	000	201	5月10日	5月17日	301	5月24日	6月15日	401	200	7	5	2	0	13	4	9	17
2	専大	102		6月15日	5月24日	5月10日	202	600	201	200	402	502	5月17日	7	5	1	1	22	9	13	16
3	早大	000	味フィ西		102	5月18日	200	301	5月10日	200	201	000	5月25日	7	4	2	1	10	4	6	14
4	明大	000	川口	201		6月14日	002	200	001	100	5月18日	401	5月10日	7	4	1	2	9	5	4	13
5	国士大	102	味フィ西	味スタ西	味フィ西		000	202	201	101	5月24日	100	300	7	3	3	1	10	6	4	12
6	慶大	フクアリ	202	002	200	000			5月24日	5月18日	002	201	6月15日	7	3	2	2	7	7	0	11
7	駒大	ゼットエー	006	103	002	202	たつこの		300	6月15日	201	5月10日	403	7	3	1	3	12	17	-5	10
8	流経大	103	102	たつこの	100	102	たつこの	003		403	100	5月24日	6月14日	7	3	0	4	9	13	-4	9
9	東国大	千葉東総	002	002	001	101	200	古河	304		5月10日	5月17日	101	7	1	2	4	7	11	-4	5
10	中大	味フィ西	204	102	味スタ西	川口	102	102	001	フクアリ		301	000	7	1	1	5	8	12	-4	4
11	桐蔭大	104	205	000	104	001	古河	保土ヶ谷	たつこの	たつこの	103		301	7	1	1	5	8	18	-10	4
12	筑波大	002	たつこの	BMWス	味フィ西	003	001	304	味フィ西	101	000	103		7	0	2	5	5	14	-9	2

体育会学生のための

リクナビ就職エージェント

どうせなら、勝って泣きたい。

部活と就活にメールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会

明治大学 vs 筑波大学

5月10日(土)
11:30K.O.
味フィ西

勝ちきれない試合もあり、なかなか波に乗りきれない明大だったが、前節の東国大戦は1-0の勝利を収め2連勝。しっかりと結果がついてきた。

「勝てたことがよかった。焦らずにワンチャンスを狙えた。守備から入れた点がよかった」(栗田大輔助監督)

もともと守備陣にはタレントがそろっており、しっかりと守れるだけの力がある。その守備をベースに勝ちきった。一方で、

「シュートのところが課題。積極的にゴールへ向かう姿勢や、最後はシュートで終わるといふところを出してほしい。もっと積極的にプレーしていい」(栗田助監督)

攻撃面ではケガ人の影響などもあり決して万全ではないが、思い切りのよさを出していきたい。

「初の連勝ができたので次節も守備から入って、焦らずに勝点を狙いたい」(栗田助監督)

6試合を戦って勝ち星がない筑波大。前節の駒大戦も3-4の敗戦を喫してしまい、2分5敗で最下位に転落した。ただ、明るい兆しはある。

「これまで6試合やって2点しか取れなかった状態から、3点取ることができた。点を取るイメージが広がったのではないか」(中山雅雄監督)

積極的にシュートを放ち、筑波大らしい攻撃が随所で見られた。一方で、4失点の守備の部分は修正が急務。

「攻撃がよくても失点してしまうようでは勝てない。攻守のバランスがうまくいっていない」(中山監督)

勝ちきるためには、もう一つ要素が必要になる。

「次節まで時間もないので、自分たちがしっかりとボールを支配しながら攻めていくことを大事にしつつ、結果にこだわりながら準備をしていきたい」(中山監督)

警告3回：車屋紳太郎(筑波大)

昨年の対戦：前期/明大0-0筑波大、後期/明大1-0筑波大

明大		筑波大	
6. 高橋	8. 石原	28. 北川	8. 早川
3. 山越	7. 差波	9. 若杉	7. 車屋
	11. 藤本	6. 片岡	
1. 三浦	9. 矢島		30. 有賀
	16. 水町	31. 三宅	
5. 松藤		29. 中野誠	5. 西村
2. 室屋	27. 瀬川	10. 中野嘉	32. 野口

順天堂大学 vs 慶應義塾大学

5月10日(土)
11:30K.O.
フクアリ

今年の順大の好調を支えているのは、なんとといっても守備。前節の専大との首位決戦も1失点したものの、アディショナルタイムに2ゴールを奪って2-1で勝利し、ついに首位に立った。これで、7試合を戦って失点4。驚異的な数字だ。

「今、トレーニングしていることがある程度生かされていて、選手が理解している。戻りは早いし、縦の関係の作り方も少しうまくなってきた。でも、あと10メートル、15メートル前でボールを取れるようになれば、計算して点が取れるようになると思う」(吉村雅文監督)

専大戦では押される時間帯が長かったが、そこでチームとしてしっかりと守備をし、相手に効果的な攻撃をさせなかった。また、終盤になっても運動量と集中力が落ちないのが、今年の順大の特長だ。ボールのないところでいかに早く引き出すか、スピードや勇気を持って押し上げていくことができるか。ここのところ調子が悪いとはいえ、慶大の守備も徹底しているだけに、試金石のゲームといえるだろう。

ここにきて慶大の勢いがストップ。6節で東国大に0-2で敗れると、前節の早大戦も0-2の完封負けを喫してしまった。

「リーグ戦の一戦というよりは、早大との試合という意味で臨んだ。リーグ戦の敗戦というよりは、早大に負けたことが非常に悔しい」(須田芳正監督)

伝統の一戦での敗北に悔しさをにじませた。

「昨季大量失点が多かったのは、球際の弱さや気持ちが途中で切れてしまうことが多かったことが原因。今日は負けたがしっかりと集中し、ベースの部分は90分間でできていた」(須田監督)

警告3回：溝渕雄志(慶大)

昨年の対戦：前期/順大6-2慶大、後期/順大0-1慶大

順大		慶大	
13. 宮本	22. 米田	8. 山浦	3. 溝渕
4. 谷奥	7. 内山	26. 加瀬澤	6. 望月
	10. 長谷川竜	18. 山内	
21. 大畑	20. 佐野		1. 峯
	6. 長谷川涼	29. 浅間	
5. 新井		27. 山本	5. 並木
3. 吉永	23. 新里	11. 増田	4. 保田

専修大学 vs 国士舘大学

5月10日(土)
13:50K.O.
味フィ西

ここまで無敗(5勝1分)で首位を走ってきた専大だが、前節の順大戦は1-2の逆転負け。しかも、2失点は後半のアディショナルタイムだけに、チームに与えるショックは大きい。

「ゲームの主導権を握ってやっていた。ただ、ボールは持っていたけれど、シュートの本数、シュートを打ってやろうという気持ちが少なかった」(源平貴久監督)

相手の徹底した守備の前に、効果的な攻撃ができなかった。追加点を奪うチャンスに決めきれなかったり、余計なパスを回してしまい相手に守備する時間を与えてしまったのが響いた。また、ゲーム終盤にはもう1点を奪いにいくのか、もしくは1-0で逃げ切るのかということが、チーム内で統一できていなかったのも問題点。昨年までは終盤にめっぽう強い専大だったが、今年は逆に追いつかれたり敗れたりしているだけに、しっかりと修正したい。

国士大の細田三二監督は、

「上を目標にしてきた中でこの勝利は大きい」と、前節の流経大戦後にほっとした表情を浮かべた。実際、この勝利は国士大にとって非常に大きく、これで首位・順大との勝点差は4ポイントと射程内に収めた。

「前節もだんだんよくなってきたが、今節もボールの動かし方が単調ではなく、いろいろな状況の中でゲームを作れるようになってきた」(細田監督)

内容とともに結果もついてきただけに、ここから一気に昨年のように旋風を巻き起こす可能性も十分にある。

「専大は回ってくるチームだから相性がいいのかもしれない。対照的なゲーム運びとなるだろう。優勝候補たちに少しプレッシャーを与えながら、前期終了時にいいポジションにいれるようにしたい」(細田監督)

昨年の対戦：前期/専大2-1国士大、後期/専大0-1国士大

専大		国士大	
5. 小口	11. 前澤	34. 渡辺	7. 橘
6. 河津	14. 野口	16. 木下	5. 仲島
1. 福島	7. 北出	9. 山川	30. 大谷
	8. 星野		8. 松本
3. 萩間		11. 平松	3. 福田
2. 北爪	13. 久保田	10. 進藤	12. 藤寿

中央大学 vs 東京国際大学

5月10日(土)
13:50K.O.
フクアリ

なかなか結果が出ず落ち込みがちな中大だったが、前節の桐蔭大戦は先制点を奪われながらも後半に3ゴールを奪って逆転に成功。ようやく初勝利を挙げた。

「選手が気持ちをすべて出して戦った結果だと思う。しっかりと信じて戦えば、十分にできるだけの能力の高い選手が集まっているので、これをベースに次も戦っていきたい」(白須真介監督)

なかなか勝つことができなかっただけに、「守備面に関し、やってきたことをもう一度徹底的に、ボールを奪ってから素早く仕掛けていこうとしたが、今日のはかなりいいイメージでできた」(白須監督)

もう一度自分たちのサッカーに立ち返り、強く意識し、それを実践した結果が勝点3に結びついた。

前節は明大に0-1の敗戦を喫した東国大。「前半はプランどおりだった。力強く速いチームだったため、うちは耐えるのみだった。その中で少ないシュートで勝機を見いだすしかなかった。選手は頑張ったし、前半途中までは守備の面でやられている印象はなかった。よくやってくれた。最後の失点は自陣の不用意なプレーだったため、そこは次への反省点」(前田秀樹監督) 圧倒的に攻め込まれながらも1失点でしのいだ守備面

には合格点を与えていいが、それだけに、勝点1だけでも得たかった。そして、チームの奮闘を勝点3に結びつけていくためには、

「シュートができないといけけない。FW陣の頑張りど、サポートする中盤の選手がボールをキープできるようにしなければならない」(前田監督)

前期リーグも終盤にさしかかり、1部の戦いにも慣れてきた。ここから着実に勝点を伸ばしていきたい。

警告3回：橋本龍馬(中大)

昨年のリーグ戦での対戦はなし

中大		東国大	
15. 縣	35. 藤橋	22. 菅原	29. 新聞
5. 岡崎	37. 矢島	4. 加藤	15. 舛田
	20. 橋本		8. 上船
1. 前田			21. 今野
	25. 三島		10. 若井
2. 木村	10. 砂川	9. 福島	5. 鈴木
39. 鴨池	11. 古橋	7. 小玉	3. 新地